



CAPスペシャリスト養成講座

CAP 就学前プログラム講座 —生涯にわたっての土台・基礎を築くために

この講座の目的は、正しい知識とスキルを持ち、幼児期の子どもたちの力を信じ、プログラムの有効性を自信をもって伝えられる“幼児期における子どもへの暴力防止の専門家”であるCAPスペシャリスト養成です。

講座では、アクティビティを体験しながら、幼児期の子どもたちを捉え直すことや幼児期という生涯にわたっての土台・基盤となる時期だからこそ行う必要がある「子どもへの暴力防止プログラム」について学びを深めていきます。理論だけでなく、子どもワークショップのグループ実習、トークタイム実習など実習を多く取り入れながら、フィードバックしあい、学び合う講座です。また、幼児期における教職員ワークショップ、保護者ワークショップについて、継続実施を念頭において考えるなど、現場に即役立つ情報満載です。

□就学前プログラム講座（23 時間）

2020年4月10日（金）12時30分～18時30分（受付11時30分～）

※1日目の昼食は済ませてからご参加ください。

4月11日（土）9時30分～18時30分

4月12日（日）9時30分～17時30分 計3日間（23時間）

※スケジュールは会場の関係で変更になる場合がありますので確定書でご確認ください。



□定員 20人

1 日目 12 時 30 分～18 時 30 分（受付 11 時 30 分～）

【目的】 幼児期における子どもへの暴力の実態を知り、神話に絡めとられることなく、事実に向けることの重要性を知る子どもの発達を理解する。
子どもの発達を理解する。
幼児期における CAP の取り組みの概要を知り、その有効性を確認する。

オープニング・ガイダンス

アクティビティ・幼児期の子どもの発達段階

【講義 1】 幼児期における CAP の歴史とプログラムの紹介

【講義 2】 幼児期の子どもへの暴力の神話と事実

— 幼児期の子どもへの暴力に対する脆弱さ—

(1) 統計から見る幼児期の子どもへの暴力の実態

(2) 幼児期の子どもたちが受けやすい暴力

(3) 幼児期の子どもに対する性的暴力

(4) なぜ報告されないのか

【講義 3】 幼児期の子どもの発達

(1) 幼児期の子どもの発達をなぜ学ぶのか

(2) アタッチメントの発達

(3) 発達理論 エリクソンとピアジェ

(4) 子どもの発達のマイルストーン

(5) 子どもの性的発達

(6) 幼児期の子どもがうそをつくという問題について



2日目 9時30分～18時30分

【目的】 幼児期におけるCAPプログラムの全体像を知る。
 幼児期におけるCAPのおとなワークショップの重要性を知り、そのために必要な知識やスキルを得る。
 プログラム提供の過程のなかで活動における信頼を高め、関係を築くことの重要性を知る。
 幼児期における子どもワークショップのための知識とスキルを持ち、実践練習を重ねる。

おしゃべりタイム

簡単な復習

- 【講義4】 幼児期の子どもに対する防止教育
- 【講義5】 幼児期におけるCAPプログラムの3つのアプローチ
- 【講義6】 幼児期におけるおとなワークショップ
 - CAPプログラムの3つの要素のうちの最初の2つ-
- 【講義7】 子どもワークショップ1
 - (1) 子どもワークショップのカリキュラムの概観
 - (2) 子どもワークショップの実演
- 【講義8-1】 子どもワークショップ2
 - (1) 第1日目 子どもワークショップ実習



3日目 9時30分～17時30分

【目的】 幼児期における子どもワークショップのための知識とスキルを持ち、実践練習を重ねる。
 プログラム提供の過程のなかで活動における信頼を高め、関係を築くことの重要性を知る。
 幼児期の子どもたちの発達を理解したうえで実施する子どもワークショップ・トークタイムを有効性の高いものにするための知識とスキルを持つ。

おしゃべりタイム質問

- 【講義8-2】 子どもワークショップ2
 - (2) 第2・3日目 子どもワークショップ実習
 - 【講義9】 トークタイム／危機介入
 - (1) 幼児期の子どもに対するトークタイムのやり方
 - (2) 危機介入のガイドライン（問題と打ち明けの事例）
 - (3) CAPプログラムを日常生活に活かすための園との協働
 - (4) 通告等のシステム・制度と法律の最新情報
 - 【講義10】 幼児期におけるCAPプログラムの実践にむけて
 - ・振り返りと質問
- クロージングサークル

